



シリーズ

キラリと光る 地方創生

《関川版》

1

地方創生——。これは、「地方経済がよくなって雇用の場が増え、人口減少に歯止めをかける。そして、地方が豊かになって、地方から日本を元気にしよう」というものです。

総合戦略の策定

最近よく耳にする「地方創生」という言葉。話題となり始めたのは、日本創成会議(民

間の有識者組織)が発表した将来の人口推計がこの発端です。人口減少の加速によって、このまま何もしなければ2040年(平成52年)には全国約半数の市町村が消滅する可能性があると言表。若い女性が5割以下に減少する自治体を「消滅可能性自治体」として位置づけ、関川村もこれに含まれました。

この人口推計が国に警鐘を鳴らし、国は「まち・ひと・しごと創生本部」を設置。国版の総合戦略を策定しました。そして、地方自治体も独自の総合戦略を策定することになりました。

自信と誇りをもって

全国に衝撃を与えた「消滅可能性自治体」。村の人口が減り続けることは、村の活力を失うことにつながります。そのため、人口減少に歯止めをかけることは重要なことです。人口を増やすことだけが目的ではありません。

むらづくりで大切なのは、村民みんなが村で暮らす意義と責任を感じ、自信と誇りを持つことにあります。村民みんなが真の豊かさを感じられることが最も重要だと考えています。

むらづくりは総合力

日本全体で人口減少が進んでいる状況のなかで、人口を増加させることは容易ではありません。そのなかで少しでも人口減少に歯止めをかけるためには、産業、雇用、暮らし、子育て、医療、福祉、教育などあらゆる分野を総合した施策が必要だと考えています。

また、村だけでは課題の解決が難しいこともたくさんあります。村と村民の皆さん、あるいは集落、各種団体などが得意分野を活かして力を合

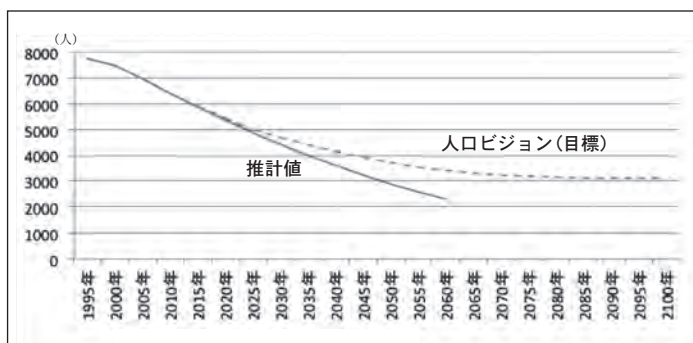
戦略は6つの柱

- ①交流から定住へ促すために
- ②地域を担う産業の振興のために
- ③切れ目のない子育てのために
- ④住みよい暮らしのために
- ⑤みんながいいきと暮らせるために
- ⑥むだのない行財政の運営のために

村では、第6次総合計画の策定に合わせて関川版の総合戦略を策定。「豊かで住みよい活気あるむらづくり」をめざし、平成28年度から5年間で行う具体的な取り組みを盛り込みました。

関川村の人口ビジョン

人口流出対策と出生率の向上によって、2060年に3400人程度の人口を維持することを目標としています。



わせる協働のむらづくりによる総合力が必要です。

関川村を発展させて後世につなげていくため、皆さんのご理解ご協力をお願いします。

* *

具体的な村の取り組みについて、次号の広報から順次紹介していきます。

学校からのお知らせ

今日は関川中学校からの紹介

愛と夢と感動あふれる 関川中学校をめざして

今年度も昨年度に引き続き、学校づくりのキーワードは、「愛」・「夢」・「感動」です。

今年度、このキーワードを具現化する教育活動の目玉の一つは、「もち米づくり」と「もち米を使ったおもてなし」です。

地域の方、JAにいがた岩船のご協力をいただき、生徒が学校田での「もち米」栽培に携わります。そして秋、収穫したもち米を使った「おもてなし料理」を地域の皆様にご提供し、日ごろのご支援に対して感謝の気持ちを表したいと考えています。10月下旬の実施をめざして、現在、計画を練っています。詳細な内容が決まりましたら、たよりやHPでお知らせします。

平成28年度も、生徒・職員が丸丸となって「愛」「夢」「感動」あふれる関川中学校をめざします。

行事の際だけでなく、日頃の学校生活の様子もご覧いただきたいと思っております。お気軽に足を運んでください。



平成28年度 入学式

完歩めざす！ 『丸の郷ウォーキング』

- 期日 5月7日(土)
雨天の場合8日(日)に順延
- 日程 8時30分に関川中学校スタート(予定)
- コース 学校→温泉橋→温泉橋土手→滝原→小見
→松ヶ丘→鉦打峠→深沢→女川農村公園
→小和田→蕨野→宮前→高田→高田橋土手
→橋場→南赤谷→学校

協力し合い励まし合って、完歩を目指します。初夏の一日を、いい汗流して満喫したいと思っております。当日、道ばたで生徒を見かけたら、ぜひ声援をお願いしたいと思います。

【参加者募集中】

生徒と一緒に参加を希望する方がいましたら、関川中学校(TEL 64-1063 担当：中西)までご連絡ください。いい汗を流しましょう。



大学と連携協定 ～新潟リハビリテーション大学～

3月22日、村は学校法人北都健勝学園新潟リハビリテーション大学と包括連携協定を結びました。これは、教育、保健・医療・福祉やまちづくりなどで相互協力することを目的に締結したもので、村が単一大学と包括連携を行うのは初めてです。

同大学の山村千恵学長は、「3月13日に村の福祉健康フェアに参加をさせてもらった。これからは地域にねぎした大学として、よりいっそう広い分野で連携を進め、村の発展に寄与したい」と語りました。平田大六村長も、「住民を対象にしたフィールドワークの場を提供できると考えている。学生との交流にも期待している」とあいさつしました。

関川ゼミナール第2期生募集!

関川をもっと知りたい、楽しみたい、そんな仲間を募集します。いろんなイベントに参加したり、自分たちで企画したりしながら生まれ育った関川村、そしてこれからもずっと生活の場とする関川村をもっと深く知り、もっと楽しもうというのが関川ゼミナールです。興味のある方はぜひ連絡をください。

【連絡先】

村民会館
担当：安久
☎ 64-2134

